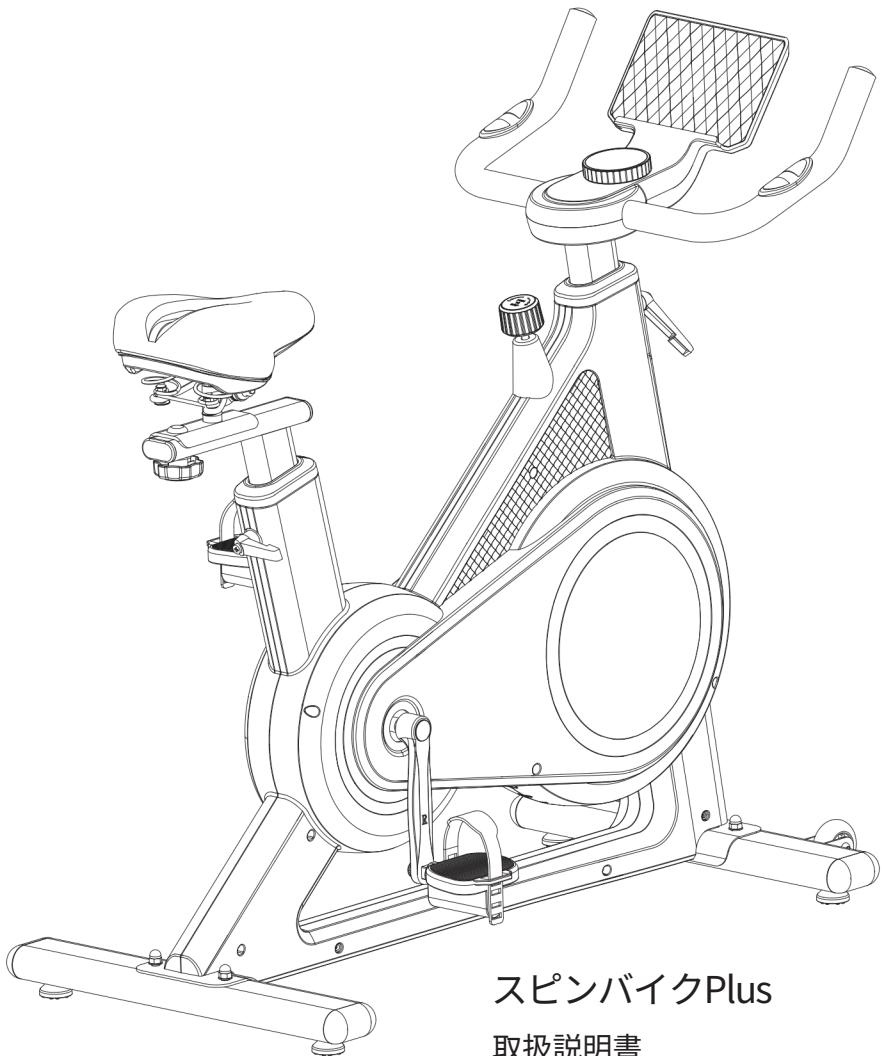


STEADY



スピンドライブPlus

取扱説明書

組立て動画



STEADY スピンドライブPlus 組立て動画



■ 安全にご使用いただくために

この取扱説明書は大切に保管してください。この度は「スピンドライバープラス」をご購入いただき、ありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

警告

- 記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用になって生じた如何なる事故につきましても、弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品はトレーニングを目的としています。本来の用途以外に使用しないでください。説明以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品の使用や、その他本製品を原因とするトラブル・事故・怪我・機材等の破損について、弊社は一切責任を負いかねます。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。

組立て前の注意事項

- 本製品を組立てる際は、本書に記載の方法に従い、内容を守って組立ててください。誤った方法で組立てると、事故の原因になります。
- 製品は硬く水平な場所で組立ててください。大人の方2人以上での持ち運びや組立てを推奨しております。
- 設置の際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも約50cmの可動域が確保できる床の上に置いてください。
- マットを敷くなどして、床や既存の家具に傷がつかないようご注意ください。万が一床や家具に破損などが生じた場合でも、弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品の耐荷重は、最大120kgです。

ご使用上の注意事項

- 自己責任のもとでトレーニングを行ってください。
- 周囲に人がいないことを確認の上、安全な場所でご使用ください。本製品は1人用です。使用中は使用者以外は製品に触れないようご注意ください。
- 本製品は16歳以上の方がご使用いただけるよう設計されています。16歳未満の方は使用しないでください。事故に繋がる恐れがあります。
- 小さなお子様やペットがいる場所でのトレーニングは避けてください。小さな部品が含まれておりますので、誤飲にご注意ください。
- ご使用のたびに、ボルトやペダルに緩みや異常がないかご確認ください。ペダルのボルトが緩んでいる場合、ご使用中にバツクが外れ、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- 体調が優れない時は使用しないでください。身体に疾患がある方、妊娠中の方は医師に相談してからご使用ください。ご使用中に体調が悪くなった場合は、すみやかに使用を中止して医師の診断を受けてください。
- 本製品の使用は健康な方を対象としています。治病目的としてのご使用には適しません。
- 前後左右に強く身体を揺らしたり、不自然な姿勢や不安定な体勢での使用はお控えください。転倒や製品の破損に繋がる可能性があります。
- 使用中は巻き込みによる怪我を防ぐため、身体のサイズに合った運動着を着用してください。
- シューズを履いてトレーニングする場合は、靴紐がフィットネスバイクに巻き付かないようにしっかりと締めてください。ペダルには足を入れてしっかりと固定してください。足が固定されていないと、フライホイールの回転も加わって踏み外しやすくなり危険です。
- フライホイールの回転はすぐに停止できません。脚の力のみでフライホイールを止めようとせず、ハンドルの下にある負荷調整ノブを手で押し、適度にブレーキを使用してください。フライホイールが完全に停止するまで、フィットネスバイクを降りないでください。
- 本製品の連続使用時間は、最大120分です。それ以上の連続使用はお控えください。120分の使用後は、15~20分のクールダウンの時間を設けてください。

お手入れと保管について

- お手入れの際は、柔らかい布などで汚れを拭き取りご使用ください。
- 鋭いものや腐りやすいものの周りで使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房機器の影響がある場所で使用しないでください。
- 水などで濡れた状態で使用しないでください。滑りやすくなるため怪我をする恐れがあります。柔らかい布などで水分を拭き取りご使用ください。

■ 梱包部品一覧表

- 梱包を開封後、組立てを始める前に各部品が揃っているかご確認ください。表内の※の部品は、お届け時に本体や部品に付属しています。
- 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。その際、下記部品名称をお知らせください。(連絡先:P14)
- 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまで組立てやご使用をお控えください。
- 仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

1. 本体 	2. 土台前（車輪付き） 	3. 土台後 
4. 土台接続ボルト×4 	5. 土台接続ワッシャー×4 	6. 土台接続ナット×4 
7. 調節ノブ×2 	8. サドル 	9. サドルチューブ 
10. サドル前後調整ノブ 	11. ハンドル 	12. ハンドルチューブ 
13. ハンドル接続ボルト X4 	14. ベダルX2 	15. ベダルナット X2 
16. スパナ大 (17mm,19mm) 	17. スパナ小(13mm,15mm) 	18. レンチ 

※はお届け時に本体や部品に付属しています

組立て手順

YouTubeに組立て動画をご用意しております。QRコードを読み込んでご覧ください。

お届け時、本体のシルバー部分には保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。



組立て動画

STEP 01 土台を本体に取り付けます

STEP1で使用する部品リスト

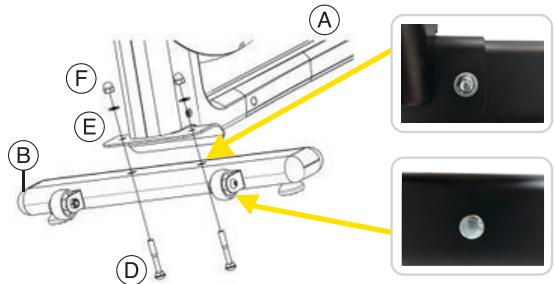
「*」は部品に付属しています。



- ① (B)土台前(車輪付き)と(C)土台後に付属している(D)土台接続ボルト(E)土台接続ワッシャー(F)土台接続ナットを取り外します。

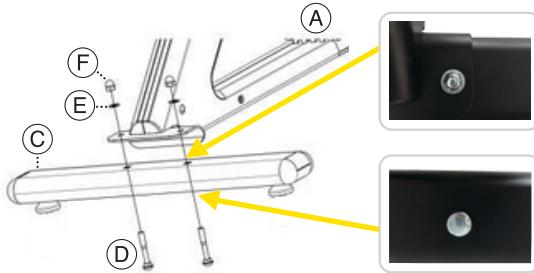


- ② (A)本体に(B)土台前(車輪付き)を取り付けます。(A)本体と(B)土台前(車輪付き)の取り付け穴を合わせ、(B)土台前の下から(D)土台接続ボルトを通します。上から(E)土台接続ワッシャー(F)土台接続ナットを取り付け、(G)スパンナ小(13mm)で固定します。



3

(C) 土台後も同様に取り付けます。



4

土台の高さを水平アジャスターで調整します。土台下にあるアジャスターを高くしたい場合には右向きに、低くしたい場合は左向きに回してください。

⚠ 水平アジャスターの高さは均一になるよう調整してください。均一でない場合、製品のぐらつきの原因となります。



STEP 02

サドルを調整します

STEP2で使用する部品リスト

「＊」は部品に付属しています。

7.調節ノブ*



8.サドル*



9.サドルチューブ
＊



10.サドル前後調節ノブ*



17.スパナ小
(13mm,15mm)



1

- ⑧サドルの高さを調整します。
⑨調整ノブを回して緩め、仮留めの状態にします。⑩調整ノブを引っ張りながら、⑪サドルチューブの高さを身長合わせて調整します。ペダルを漕いでペダルが一番下にきた際に、膝が完全に伸びきる手前の高さに調整します。



2

- ⑫サドルの位置を前後に調整します。⑬サドル前後調整ノブを回して緩め、⑭サドルを前後に移動させます。⑮サドルに座りハンドルを握ったとき、肘がやや曲がる状態の位置まで調整した後、⑯サドル前後調整ノブをきつく締め直します。



3

- サドルの角度を調整します。⑰サドル下部の六角ナットを⑱スパナ小(13mm)で緩め、漕ぎやすい角度に調整し、きつく締め直します。



⚠ご使用前に、必ず⑰サドルの角度や状態を確認してください。⑰サドルが固定されておらず、六角ナットの締め付けが不十分の場合、傾きやガタ付きの原因となり事故に繋がる場合があります。

⚠サドルに梱包材の跡がつき、凹みが見られる場合がありますが、時間の経過とともに解消されますので安心してご使用ください。

STEP 03

ハンドルをハンドルチューブに取り付けます

STEP3で使用する部品リスト

「*」は部品に付属しています。

11.ハンドル



(A)

12.ハンドルチューブ*



(B)

13.ハンドル接続ボルト*



(C)

18.レンチ



(D)

1

①(A)ハンドルに付属している ③(C)ハンドル接続ボルトを取り外します。



2

②(A)ハンドルのケーブルと(B)ハンドルチューブから伸びているケーブルを接続します。そのケーブルをハンドルチューブ内に落下させないようご注意ください。取り出しが困難な場合がございます。



3

③(A)ハンドルに付属している(B)ハンドルチューブの取り付け穴に合わせます。④(C)ハンドル接続ボルトを挿し込み、⑤(D)レンチを使用し固定します。



⚠️⑥(C)ハンドル接続ボルトの固定が不十分の場合、(A)ハンドルのガタつきの原因になる場合があります。

⚠️ケーブルは(B)ハンドルチューブの凹部分に入れ込んでください。

4

⑦(A)ハンドルの高さを調整します。本体に付属している調整ノブを回し緩めてから引つ張り、(B)ハンドルチューブを動かします。身長とサイクリングの経験値に合わせて高さを調整します。



初心者の場合

ハンドルの位置はサドルよりもやや高めにします。



経験者の場合

ハンドルとサドルの高さを同じにするか、ハンドルをサドルに対してやや低めにします。

⚠️⑧(A)ハンドルのセンサー部分には保護シールが貼られています。ご使用前に剥がしてください。

STEP 04

ペダルを本体に取り付けます

STEP4で使用する部品リスト

「＊」は部品に付属していません。

1.本体



14.ペダル



15.ペダルナット
＊



16.スパナ大
(17mm,19mm)



17.スパナ小
(13mm,15mm)



1

ペダルベルトには右「R」、左「L」の刻印がされています。刻印がされている方を表にしてください。



2

ペダルベルトを(B)ペダルに取り付けます。(B)ペダルの内側（クランク接続側）のフックに、ペダルベルトの穴を下から引っ掛け、上に引き上げるように取り付けます。下から上へ引き上げる際には強く引っ張り、取り付けてください。(B)ペダル外側も同様の方法で取り付けます。



3

- Ⓐ 本体とⒷペダルにはそれぞれL(左)とR(右)のシールが貼られています。組立て前に確認してください。



4

- Ⓑペダルに付属しているⒸペダルナットをⒹスパナ大(19mm)を使用し取り外します。

⚠ 必ず回転方向を確認してから取り外してください。

右ペダルのナット=時計回り、

左ペダルのナット=反時計回りで緩みます。

逆方向に回すとさらに固着し、取り外せなくなります。



5

- 右のⒷペダルを取り付けます。Ⓐ本体にⒷペダルを挿し込みⒺスパナ小(15mm)を使用し「時計回り」に回します。Ⓒペダルナットを取り付け、Ⓓスパナ大(19mm)を使用し「反時計回り」に回して固定します。2つのスパナを同時に使用すると、スムーズに取り付けできます



6

- 左のⒷペダルを取り付けます。Ⓑペダルは「反時計回り」に、Ⓒペダルナットは「時計回り」に回して固定します。

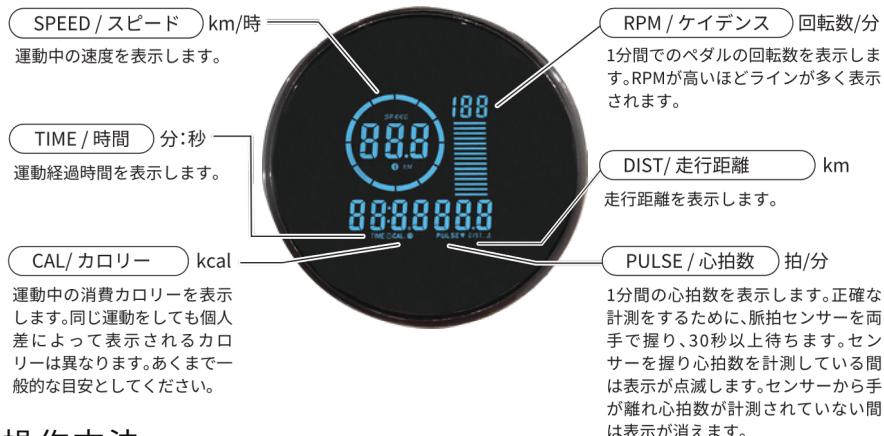


- ⚠ Ⓑペダルが回転しなくなるまで十分にスパナで締め付け固定します。締め付けが不十分な場合、思わぬ事故、ガタつき、異音が発生する可能性があります。ご使用前にはⒷペダルに緩みがないか確認してください。

I 表示モニターについて

モニターは単3乾電池を4本使用します。電池交換の際はハンドル下部の電池カバーを外してください。
お届け時、モニターには保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。

各項目の説明



I 操作方法

使用開始と使用停止

運動を開始するか、モニターを軽く押すことで起動します。

運動を停止するか、モニターが押されずに約4分間が経過すると自動的にオフになります。

リセット方法

モニターを約5秒間長押しします。

時間、走行距離、カロリーの目標値設定

時間は2:00~99:00、走行距離は1.0~99.5km、カロリーは10.0~9999kcalに設定できます。目標値を設定せずに運動を開始すると、数値は自動でカウントされます。

1. 運動を停止した状態で、設定したい機能の文字が点滅するまでモニターを短く押します。
2. 目標の数値までモニターのシルバー部分を回します。
3. 運動を開始すると、カウントダウンがスタートします。
4. あらかじめ入力した目標値に達するとアラームが鳴ります。その後も運動を続けた場合は、数値が加算されていきます。

⚠️運動している状態では目標値を設定することができません。運動を停止した状態でモニターの操作を行なってください。

⚠️スピード、心拍数、ケイデンスの目標値は設定できません。ご了承ください。

I Bluetooth接続方法

本製品はKinomap、Zwiftと接続できます。Bluetooth名は「STEADY」です。

Bluetooth接続方法

1. アプリをデバイスにダウンロードし、アカウントを登録します。
2. バイクとアプリを接続する前に、デバイスのBluetoothがオンになっており、他の機器がBluetooth接続されていないことをご確認ください。
3. アプリを起動し、操作画面に従ってバイクと接続してください。

Kinomap

1. アカウントにログインします。
2. 「もっと表示する」のページで「器具の管理」に進みます。ページ右上の「+」ボタンを押し、新しい器具を選択します。マイマシーンの選択画面で「エクササイズバイク」の画像を選択します。
3. 「マイエクササイズバイク」のブランド選択画面で、最下部の「SENSORS」を選択します。「マイエクササイズバイク」の画面で「インテラクティブ」の「FTMS」を選択します。
4. バイクをこぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。

Zwift

1. アカウントにログインします。
2. デバイス選択画面で「ライド」を選択し、「パワーソース」を選択します。
3. バイクをこぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。
4. 「ライド」内の「ケイデンスセンサー」も同様に接続します。「パワーソース」「ケイデンスセンサー」以外の機能はBluetooth接続ができません。ご了承ください。

Bluetoothが繋がらない場合

1. ネットワークの状態が正常であることを確認してください。
2. Bluetoothのサーチ中にバイクをこいでいるか確認してください。
3. バイクは複数の機器に同時接続できません。他のデバイスがバイクに接続されていないことを確認してください。
4. スマートフォンの設定からのBluetooth検索は無効です。アプリ内で「STEADY」を検索し、接続してください。
5. デバイスの再起動をお試しください。
6. 上記の方法で解決できない場合は、センサーの故障の可能性があります。STEADYカスタマーサポートにお問い合わせください(P14)。

▲KinomapとZwiftの接続方法については、アプリのバージョンによって手順が異なる場合があります。

▲KinomapとZwiftの仕様・金額・お支払い、それ以外のアプリに関しては、各アプリへお問い合わせください。

I 負荷調整ノブの使用方法について

①負荷調整について

本製品は、磁気抵抗・非接触タイプを使用しており、無段階負荷調整となっています。「+」(時計回り)に回すと抵抗が大きくなり、「-」(反時計回り)に回すと抵抗が小さくなります。スプリングが通常の状態に戻ると、最小負荷となります。

- ⚠ 「+」(時計回り)に回しすぎず、最大負荷の状態で使用しないでください。ブレーキラバーがフライホイールに触れ、異音の原因となります。その際は「-」(反時計回り)に回し、負荷を軽くしてください。
- ⚠ 「-」(反時計回り)に回しすぎると、負荷調整ノブが抜ける場合があります。その際は負荷調整ノブを本体に挿し込み、「+」(時計回り)に回して取り付けてください。



②運動中の停止方法

運動中に停止したい場合には、画像のように負荷調整ノブを押し停止してください。

- ⚠ 必要以上にブレーキをかけると、本体内部のブレーキラバーが摩耗して薄くなります。抵抗を高める目的ではブレーキを使用しないでください。
- ⚠ 高速で走行すると、フライホイールの回転はすぐに停止できません。脚の力でフライホイールを止めようとせず、適度にブレーキを使用してください。フライホイールが完全に停止するまで、バイクを降りないでください。



■ 移動方法について

ハンドル先端部分を握り、床に向かって押し下げます。

土台前に付いている車輪が床に接触した状態で移動させることができます。

- ⚠ 柔らかい素材のキャスターを使用しておりますが、床の素材によっては傷がつく可能性があります。マットを敷くなどして、必ず床への傷対策を行なってください。



■ 製品の仕様について

長さ	約100cm	サドル - 床間	約82-100cm
幅	約53cm	サドル長さ	約27cm
高さ	約112cm	サドルの高さ調整	8段階
サドル - ハンドル間	約74-82cm	ハンドルの高さ調整	6段階
サドル - ペダル間	約70-90cm	耐荷重量	最大120kg
ハンドル - 床高	約87-99cm		



I 不具合と感じたら

異音がする	サドル下部の六角ナットを締め直してください。(参考：P5) ペダルが緩んでいる場合があります。スパナを使用し、きつくペダルを締めてください。(参考：P8) 負荷が高すぎる場合があります。負荷を調整してください。(参考：P11)
本体がガタつく	土台下の水平アジャスターを調整してください。(参考：P4)
サドルがガタつく	サドル調整ノブ、サドル前後調整ノブ、サドル下部の六角ナットを締め直してください。(参考：P5)
ハンドルがガタつく	ハンドル接続ボルト、ハンドル調整ノブを締め直してください。(参考：P6)
サドルの角度がズレる	サドル下部の六角ナットを緩め、角度を調整後きつく締め直してください。(参考：P5)
ペダルナットがペダルから外れない	必ず回転方向を確認してから取り外してください。右ペダルのナット＝時計回り、左ペダルのナット＝反時計回りで緩みます。逆方向に回すとさらに固着し、取り外せなくなりますのでご注意ください。(参考：P8)
モニターの不良	ケーブルの接続状況を再確認してください。(参考：P6) 電池を交換してください。(参考：P9)
モニターに表示される心拍数が不正確	本製品は医療機器ではないことを予めご了承ください。実際の心拍数とモニターの数値に差異が発生する場合があります。(参考：P9)
本体のシルバー部分、ハンドルのセンサー部分、表示モニターの小傷	お届け時には保護シールが貼られています。保護シールが傷ついている場合があります。剥がしてご使用ください。(参考：P3、6、9)

■ STEADYカスタマーサポートへ連絡したい場合

ご不明点やご質問がございましたら、いつでもSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。

LINEでのお問い合わせ



”購入後ご相談“をタップし、
お問い合わせ内容を入力してください。



お問い合わせフォームのメール送信



お名前、メールアドレス等をご入力のうえ、
送信ボタンをクリックしてください。

【STEADY カスタマーサポート連絡先 & 営業時間】

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝日・お盆・年末年始を除く）

050-5369-0949 / support@steadyjapan.zendesk.com

※金曜17:00以降ならびに土日祝日に頂いたお問い合わせは、休業日明けの翌営業日より順次
ご返信いたします。回答までお時間を頂戴いたしますが、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証期間

- ご購入日より365日間となります。公式LINEからご注文番号のご登録によりスピーディーなサポートが可能です。
- 保証期間内に取扱説明書に従ってご使用になっていた場合、保証適用外の事項に該当しない場合は無償交換が可能です。
- 保証期間が過ぎた場合は、仕入れが可能な部品に限り有償にて部品交換させていただきます。

LINE公式アカウントに
友だち登録すると
安心の1年保証!//



保証適用外の事項

- 取扱説明書に記載されている正しい組立て方法、使用方法、保管方法、取り扱い方法以外のご使用により不具合や事故が発生した場合
- 仕様の範囲内と判断された場合（駆動音、製造過程で生じる気泡、折れ、細かな汚れ、輸送中の小傷や擦れなど）
- 輸送中に外箱や梱包材が破損した場合でも、製品に不具合が生じていない場合
- 中古品のご購入や公式サイト/公式販売モール以外でご購入した場合（有償での対応は可能）
- ご自身での修理や改造などが見受けられる場合
- 地震、火災、台風、落雷などの天災や、薬品、酒、水、石、塩分など、外から受ける要因による不具合や事故が発生した場合
- 未開封、未使用に限らず保証期間を過ぎた場合

STEADYカスタマーサポートへのお問い合わせ方法

- 不具合が疑われる場合や、交換をご希望の場合はSTEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください（連絡先：P14）。
- お問い合わせの際には、不具合が疑われる箇所の画像もしくは動画を添付してください。

注意事項

- 製品の不具合によりお客様に生じた機会損失や金銭的損害については、弊社では責任を負いかねます。
- 保証期間内の製品で不具合と判断した場合は、基本的に部品交換の対応を取らせていただきます。出張サービスや業者手配による設置、組立て、解体、梱包、修理等は原則対応しておりません。

こんにちは。STEADYカスタマーサポートです。

お客様の声を元に、みなさまが笑顔になれるよう努めることが私たちの使命です。
これからも一緒に歩んでいけるように。

小島一生

